

はじめに

ときがわカンパニー(同)代表の関根雅泰(せきねまさひろ)です。月1~2回の頻度で、この「ときがわカンパニー通信」を発行し、活動の様子を、皆さんと共有できたらと考えています。どうぞよろしくお願い致します。(右の写真は、ときがわ町役場本庁舎前にある「ときがわ町起業支援施設 ioffice」です。)

ときがわカンパニー合同会社がやっていること

ときがわカンパニー合同会社は、2016年1月に設立されました。設立目的は「ときがわ町に、人が集まり、仕事が生まれる」状態を創ることです。そのために、「仕事を自ら創り出せる」ミニ起業家を支援し、彼らが活躍する事で、ときがわ町や近隣地域に、どんどん新たな仕事が生み出され、人が集まってくるような状態を創れればと考えています。皆さんのご支援よろしくお願い致します。



比企起業大学・比企起業大学大学院 卒業生インタビューvol. 19 比企起業大学22秋 アウトドアナースマンさん

2017年にスタートした比企起業塾。その後、比企起業大学・大学院へと進化を遂げ、卒業生は57名となりました。このコーナーでは、卒業生の声とその後の活動内容をお届けします。今回は、比企起業大学22秋卒のアウトドアナースマンさんです。

自己紹介をお願いします!



宮城県白石市出身です。原発事故の近くでしたが、のどかで素晴らしい場所です。白石には仙台藩や伊達政宗にまつわる歴史があり、白石城も有名で、母校の白石高校はその城跡にありました。高校ではスキー部に所属。クロスカントリーという種目で県大会6位になったこともあります。

卒業後は、埼玉医科大学短期大学の看護学科へ進学しました。姉が看護師というのと、親から「お前は営業に向いていない」と言われて……。後から感じたのですが、看護師って日常から「人の死」や「病気」などと向きあう精神的にハードな環境なので、私のような少し気楽な性格の方が合っているかもしれませんね。

でも、短大は、女子学生130人中男子が3人という環境……。これは、さすがに大変でした。何かをする度に見られている気がして。入学から1ヶ月後、そのストレスが原因で急性胃潰瘍になり、1ヶ月入院することになってしまいました。その後は、もともとの「人が好き」という性格もあり、サークル活動や部活動にも所属し、充実した学生生活を送ることができました。

卒業後は、そのまま埼玉医大へ就職。消化器外科や皮膚科など約3年間隔でいろいろな科を経験しました。様々なことが学べる看護も興味深かったですし、先輩やドクターと食事に行ったり、病棟の人たちとスポーツしたりと職務以外でも楽しい時間を過ごさせて頂きました。

人生の転機は?

もともと仕事の合間に、リフレッシュとしてキャンプには行っていました。その中で、今でも鮮明に記憶している光景があるんです。ある日、デイキャンプに向かう途中、たくさんの人がBBQをしている河原に立ち寄ったんです。ふと土手の方を見ると、車いすに座った男の子がいて。その子が河原で遊んでいる子どもたちを楽しそうに見ているんです。階段や砂利があって、川の近くには行けないけど、まるで自分が楽しんでいるかのような笑顔で。「この子も同じ場所で楽しませてあげたい」、強烈に感じましたね。看護師とアウトドア好きの自分ならできるかもしれない。障害を持っていてもアウトドアを楽しめる場所を作りたい。その想いを胸に退職を決意します。

比企起業大学に入学したきっかけは?

きっかけは、ときがわ町で「TENKU CAMP BASE奥武蔵」というキャンプ場を開拓中の丹澤さん(比企起業大学大学院4期)のX(Twitter)です。丹澤さんの記事はチェックしていたのですが、そこに時折、比企起業大学の話題が出ていたんですよ。

自分も「キャンプ場をやりたい」という想いがあったので、丹澤さんと話したいという強い希望とキャンプ場を経営していく方法を学びたいと思い入学を決めました。

比企起業大学に入ってよかったことは?

入学前は、「障がい者も楽しめるキャンプ場をしたい!」という想いが強く、土地を探している時に危ない経験もしたんです。入学後、学ぼううちに、いきなりそれはリスクなことだったと思われ知らされましたね。あと、比企起業大学では、アウトドアを事業としている先輩方とつながることができ、共に活動したり、教えてもらったりできる「仲間」ができました。最終的なゴールは変わっていませんが、そこまでの道のりとして、仲間たちと学びながら、協力しながら歩いていきたいです。

今後の展望、やりたいことはありますか?

現在、アウトドアナースマンとして、看護もできるキャンプインストラクターとして活動中。YouTubeやXなどで情報発信をしたいと思っています。





アウトドアナースマンさんの情報発信はこちら!






あと、実は「モルック」というスポーツで日本代表を目指しています。モルックとは、フィンランド発祥のアウトドアスポーツで、12本の木製ピンを倒し、得点を記録する競技。子供から大人まで、車いすでも楽しめる「軽スポーツ」として注目されています。現在、毛呂山町でチームを結成し、活動中です。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

モルックチームメンバー絶賛募集中! 応募フォームはこちら!


比企起業大学23秋「10月ゼミ」を開講しました。

2023年10月27日(金)18時~20時、比企起業大学23秋「10月ゼミ」を開講しました。講師陣、学部生との意見交換の場です。今回は、6名の内、5名の学部生が参加しました。(今月の課題本:栢野 克己著『小さな会社の稼ぐ技術』)



●**神山さん(ときがわでトカイナカハウス)**
・新刊『海渡る北斎』を出版。(中高生向け)
・トカイナカハウスというゲストハウスの運営、子供作文教室、ライターという3つの活動をしている。一点突破から逸脱しているので、そこをどうするかを考察中。
・町内で体験コンテンツをしている人との連携をしてみても。
・ハウスでの自然塾。来年は移住や二拠点テーマにやってみよう。

●**はまちゃん(宮城で起業準備中)**
・地域の創業塾@名取市に参加予定。
・商品はまだ未決定だが、山登りや森林を通してのリトリートやセラピーを検討中。森林セラピーの資格を取ろうかと。
・リトリートをテーマでやっていく。レジャーと差別化し、心の回復という観点からアプローチしたい。
●**藤原さん(キャンプ場経営が目標)**
・起業というとITやAIを駆使して、効率的に進めていかうというイメージがあったが、本を読んで、接近戦、アナログな付き合い方もあると知った。
・現在、設備の設計施工を請け負う会社の職員。責任はきちんと果たしているが、身に入らないこともある。
・毎週末、秩父や比企地域に行き、キャンプ場ができてそうな山を見に行っている。
・キャンプ場としての差別化が課題としてある。

●**佐藤さん(元教員。木工品を製作)**
・教員、教育委員会職員を経験。失敗ができない仕事だったが、起業では、「失敗して、1つ見つける」というストーリーが多かった。
・現在、木工学校へ通学。来年卒業後、技術を磨くために、どういう会社に入ったらよいか。自分で始められることがあるのか。
・子ども向けの木工家具を製作したい。
●**金井さん(ITを使ったビジネスを検討)**
・企業が作るホワイトペーパー(メルマガ広告を売るLP)を作成したら喜ばれた。手応えを感じた。
・ロゴマークの専門家や、動画マーケティングコンサル等ジャンルを絞っていきたい。
・手広くやってしまう傾向があるので、ランチェスター戦略を取り入れた方向性を考えたい。

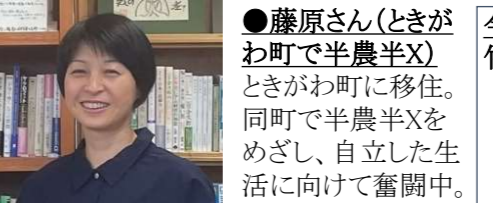
比企起業大学大学院第7期「ゼミ(1)」を開講しました。

2023年10月21日(土)13時30分~16時30分、比企起業大学大学院 第7期「ゼミ(1)磨き合い会」を開講しました。今期は、浅沼さん(比企起業大学22秋生)と、藤原さん(比企起業大学23春生)のお2人に対して、講師4名でサポートしていきます。



<読書会議>


●**浅沼さん**
「第13条 有効な時間内の局地戦販売を重視。弱者は地域を重視せよ」
・ふじみの市から来ている人が、遠いのでこっちでやってほしいという声。「移動するな」と比企大で学んだので悩んでいる。
・川越をこえると、花に対する考え方が変わる。単価が上がるので、そこも悩むポイント。
・花市場は板橋。移動時間がもったいない。
●**藤原さん**
「第12条 他人の力をあてにするな」
・自分の中から湧き出るものを、人にぶつけて、反応を見て、精査する。それを続けていきたい。
・自分は、独自路線に向いているかも。そもそも、私のようにパラグライダーをやる人は変わってる。
・独自路線で本を作りたい。それが無いと、ビジネスとして魅力的でない。真似をせず、お客様目線で良いものになれば。



<事業会議>

●**浅沼さん**
・7~9月は、花がなく、売れないので課題。仕入れのない自分の経験や学びを元にしたマネタイズを検討中。
・花の教室をやりたい生徒さんに、伴走する。アドバイスする仕事を夏に。
・趣味でも稼げていけば、ご主人に何かあっても食べていける。それを証明して、教えられる人になり、更にはコミュニティを作りたい。
●**藤原さん**
・個人向けに、自伝的な「本」の作成を考えている。ただ、作業ボリュームが多いため、高額商品になる。
・フロント商品として、お話を聞く会としてのお茶会をしたい。
・バックエンド商品は、二度目が無い商品。次へのつなぎ方をどうするか。
・家族からするとペットも空き家も「忘れてほしくない」存在。
・3世代の中間が、下に伝えるための本。

今月の課題本
竹田陽一著
『ランチェスター弱者必勝の戦略』



<約束合意>

●**浅沼さん**
・半年後:教室の人数を、月60人増。コンサル対象の3人準備。
・1か月間の目標:コンサルティングのメニュー作り着手。必要スキルの書き出し。教室のH,Pのリニューアル。
●**藤原さん**
・半年後:全部で3冊。作ることは確定している状態を目指す。
・1か月間の目標:商品のカテゴリーを、3つに絞る。11月中旬に名刺の作成。顧客候補の聞き取り。



第55回「本屋ときがわ町v.2」を開催しました。

2023年10月15日(日)第55回「本屋ときがわ町」を開催しました。この日は、朝からどしゃぶりで心配しましたが、お昼くらいから徐々に晴れてきて……！近くのトレセンでは、「もみじ太鼓まつり」も開催されており、にぎやかな雰囲気も漂っていました。

●出店者紹介

- (1) 雑本のFull本屋&トキノキオク舎 風間夫妻@坂戸市
- (2) 本屋ときがわ町 ioffice店



●デジタルサポーター岩崎さんによるセミナー「【超初心者向け】はじめての人のためのAIセミナー～ChatGPTを使ってみよう～」

小川町に今年移住されたデジタルサポーターの岩崎さん(なんと7人のお子さんを持つパパ!)。今話題のChatGPTやNFTについて、初心者でも分かりやすく丁寧にお話しいただきました。私も気になってはいたのですが、岩崎さんのおかげでその活用方法がよく分かりました！岩崎さん曰く「5年度には、皆が普通にAIを使うようになる」。私も乗り遅れないように、学んでいきたいと思えます！ありがとうございました！



●雑本のFull本屋&トキノキオク舎 風間さん御家族@坂戸市の「なんちゃってホットサンド&コーヒー」

いつも本屋に出店してくださっている風間夫妻が、ホットサンドとコーヒーを提供してくださいました。参加者の方から「普段、比企起業大学の講師としての姿しか知らない風間さんが、食事を作成されている姿が珍しかったです」とのお声。おいしかったです！



●「本屋ときがわ町」に来てくれた人をご紹介します！

- ・浅沼さん(比企大22秋、大学院7期生)
- ・尾上さん(比企院1期生)
- ・藤原さん(比企大23春、大学院7期生)
- ・大塚さん(比企大22秋)
- ・根岸さん(比企大22秋)
- ・比企起業大学おうち起業部講師のずこちさん(比企大22春・大学院6期生)
- ・金井さん(比企大23秋)とご家族
- ・保坂さん(ときがわ町役場広報)
- ・いつも託児サポートをして下さっていたMさん
- ・彩ニュースの小原さん



トキノキオク舎通信vol.17

「トキノキオク旅～東松山市岩殿観音編～」を開催しました！

こんにちは！比企起業大学大学院3期卒の風間ユカです。トキノキオク舎として、日本民俗学を通し、比企地域に残る小さな伝統行事や風習を、楽しく、分かりやすく、伝える活動を展開中！

10月16日(木)にトキノキオク旅～東松山市岩殿観音編～を開催しました。



絶好の秋晴れの中、参加者の方と気持ちよく散策することができました。岩殿観音の参道にある、石塔や屋号の看板、火の見櫓などのほか、岩殿に残る昔話も紙芝居形式でご紹介。最後には、村を守る結界「フセギ」もご案内させていただきました。ガイドブックには絶対に載っていない、小さな歴史のキオクたち。書き込み式のしおりを片手に、私が丁寧にテンション高くご案内いたします笑！

トキノキオク舎
Instagram
@tokinokiokusha



(トキノキオク舎 風間ユカ)



23年12月に配布される「広報ときがわ」に、比企起業大学メンバーや私(関根)の取材記事が掲載されます。(広報担当の保坂さん、丁寧な取材と熱のこもった記事、ありがとうございます！)

広報に掲載して頂けるのも、お世話になった方々のお陰です。広報には載せきれなかった感謝の気持ちを、こちらで示せたらと思います。特に、初期段階でお世話になった方々を中心に、謝意を述べさせていただきます。

2016年(平成28年)1月1日 ときがわカンパニー設立

- ・内装木質化(ときがわ方式)に関して、ご指導ご助言下さった 初代町長の関口定男さん、役場ご担当の伊得さん 山主の畑さん、伐採士の大地さん、ときがわ木材の田中さん、松村木材の松村さん、岩崎工務店の岩崎さん、建具の謙さんを始めとするときがわ材関係者の皆さん、そして、板橋から何度もときがわ町に通って下さった ラーンフォレストの林博之さん、ありがとうございました。
- ・地域に関わるきっかけを作って下さった、はなぞの保育園の柳瀬園長、ときがわ活性会の西澤さん、谷野さん、渡邊さん(現ときがわ町長)、柿沼さん、野口さんを始めとする皆さん、ありがとうございました。
- ・ときがわスキマ旅を支援して下さった役場の野野さん、とうちゃんず仲間の皆さん、ありがとうございました。

2017年(平成29年)4月3日 ときがわ町起業支援施設 ioffice オープン

- ・ときがわ町企画財政課(当時)の荒井さん、荻野さんを始めとする役場の皆さん、そして、ときがわカンパニー顧問の勇さん、ありがとうございました。
- ・優太、島田さん、スウェーデントーチ、ときがわウォッチング動画、カフェ運営等、二人には色々助けてもらいました。本当にありがとうございました。

2017年(平成29年)9月18日 比企起業塾スタート

- ・「地域でのミニ起業家育成」という昔からやりたかった仕事に取り組むきっかけを作った 埼玉県職員のTさん、Wさんを始めとする皆さん、1期の立ち上げ時にはお世話になりありがとうございました。

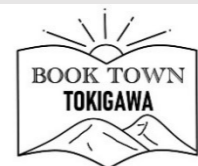
まだまだ感謝すべき方々が沢山いらっしゃるのですが、いったんここまでとさせていただきます。皆さん、本当にありがとうございました。比企つづきご支援ご指導のほどよろしくお祈りします。

「本屋ときがわ町」について

本屋ときがわ町とは？

「本屋のないときがわ町に本屋さんを！」という想いで2019年4月にスタートしました。個人が自身の蔵書を出店者として持ち寄り、お客さんに直接販売して頂きます。

更に、今年1月に「ミニ起業家が集う場」として、リニューアル！本以外にもキッチンカーやワークショップなど、出店して下さる方を募集しています。出店者としても、お客さんとしても是非お気軽にお越しください。



本屋ときがわ町
Facebookグループ

プレゼント企画！

本屋ときがわ町に、この「ときがわカンパニー通信」ご持参の方は、本(関根の販売するしるし本の文庫or新書)を1冊プレゼント！

比企起業大学総長の私が「大切な」「参考になる」と、線やメモを記入した世界に1冊しかない「しるし」の入った本です。ビジネスの参考にいかがでしょうか？(本の種類によっては、しるしが入っていないものもあります)



第56回「本屋ときがわ町」を開催します！

日時:2023年11月19日(日)10時～15時

場所:起業支援施設ioffice(ときがわ町役場本庁舎前)

毎月第3日曜日は、「本屋ときがわ町」！

- ・出店者も、募集中！(出店料1日1,100円 比企起業大学関係者1日550円)
- ・気軽に、本屋のみ見に来て下さることも可能です。
- ・イベント参加の場合は、別途、参加費が必要になります。

本屋ときがわ町の
詳細はコチラ



◎ときがわ町起業支援施設 iofficeでの「有料起業相談」のお申込みについて

「ときがわカンパニー」のブログに、「代表 関根の大まかなスケジュール」が出ていますので、そちらを確認の上、「フォーム」からお申し込みください。(1回 約1時間 3,300円。比企起業大学・大学院 関係者は、1回1,100円) 24時間、365日 いつでもお問合せ可能です。

おわりに

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。次は第68号で活動を報告します。お楽しみに！(編集:トキノキオク舎 風間ユカ)